



# 2021年3月期 連結決算資料



# 経営理念

#### 社会貢献

1杯のコーヒーを通して、お客様にくつろぎとやすらぎを感じていただけるホスピタリティサービスを提供することで社会貢献する。

#### 人材教育

仕事を通して企業人、社会人としての人間的成長教育をする。

### 適正利潤の追求

適正利潤をもって会社の永続的発展を目指し、当社に関わる人々を 幸福にし、社会貢献の目的を達成する。

# 基本情報

商号	株式会社銀座ルノアール (GINZA RENOIR CO.,LTD)	設立	1964年10月
代表者	代表取締役社長 小宮山 誠	所在地	東京都中野区中央4-60-3
資本金	1億円	連結子会社	有限会社銀座ルノアール
従業員数	199名 (平均臨時雇用者数1,451名)	関連会社	株式会社花見煎餅



1.ホスピタリティ サービス



3.「喫茶室 ルノアール」 のブランドカ









6.安定的な利益の創出

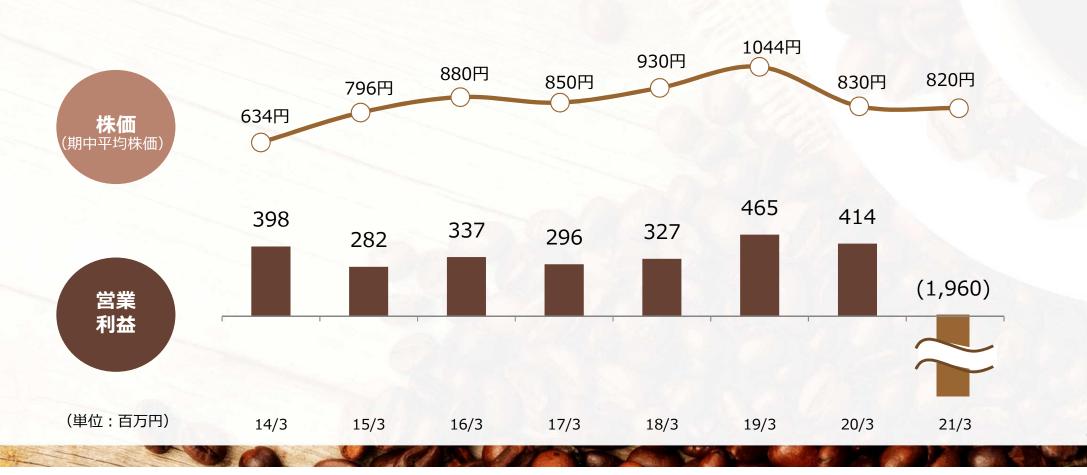
5. 地域密着型 店舗・サービス 拡充

4. キーコーヒー との業務提携





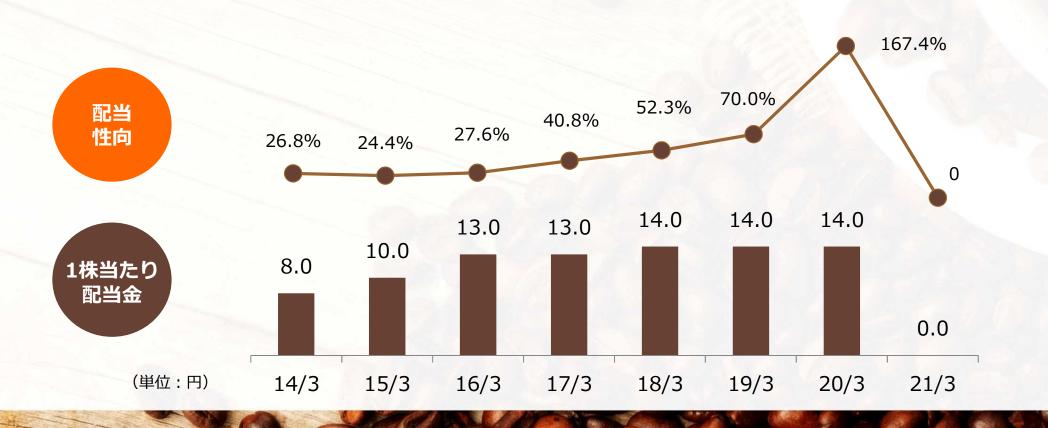
- ■営業利益又は営業損失:昨年発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響は長期化し、来店客数の激減により、売上高は前期比48.1%減となりました。販売管理費及び一般管理費は各コスト削減により前期比16.3%減でしたが、売上の減少をカバーするには至らず、営業損失は△1,960百万円となりました。
- ■株価:新型コロナウイルス感染症拡大による経済への影響が長期化するとの懸念から820円となりました。 1株当たりの純資産は借入金の増加もあり529円となりました。





#### 基本方針

- ■株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけ、業績に対応した配当を行うことを基本とする。
- ■企業体質の一層の強化、今後の事業展開に備える為の内部留保を勘案し、株主の皆様にとっての収益性、 今後の収益見通し等を考慮しながら、積極的に利益還元を行う。
- 58期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今回は無配とさせていただきましたが、 感染症拡大防止策を強化し、安心安全な店舗運営に努めてまいります。





当社は株主の皆様に対し、株主ご優待券及びオリジナルアイスコーヒーセットを お送りしております。

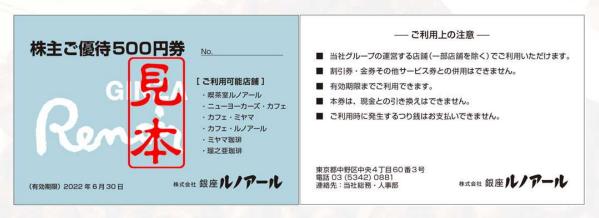
#### 株主ご優待券ご利用対象店舗

喫茶室ルノアール、ニューヨーカーズ・カフェ、カフェ・ミヤマ、カフェ・ルノアール、 ミヤマ珈琲、瑠之亜珈琲、貸会議室各店

所有株式数	ご優待内容
100株(1単元)以上	株主ご優待券1,000円分
500株(5単元)以上	株主ご優待券5,000円分
1,000株(10単元)以上	株主ご優待券10,000円分 3,500円相当のオリジナルアイスコーヒーセット







株主ご優待券



提供する商品を通じての コミュニケーション

地域社会をつなげる コミュニティの場としての 環境整備

空間の快適さと アメニティの強化

心からくつろぎ 安らぎを感じていただける ルノアール流の おもてなしの強化

1人1人異なる 多様なニーズに対応

高齢者の方、障がいを お持ちの方へ配慮した 店づくり



スマイルと礼節を 大切にした 心温まるおもてなし





企業価値向上に よるブランド醸成 人財の確保と育成

- ※人財確保に向け、制度の多様化・ 採用方法の強化
- ※サービスのプロとしての育成
- ※女性管理職の育成と比率の拡大
- ※従業員満足度向上の為、 社内表彰制度等のインセンティブ イベントの実施
- ※ブランドカ向上に寄与する ルノアール人の創造

顧客満足度 向上

従業員満足度 向上





# ◆大正ロマンから昭和モダンへ

新店舗と一部改装店舗を昭和モダンを空間コンセプトにしたデザインへ変更







# ◇新店舗

- \*池袋西口店(2020/7)
- \*新橋日比谷口店(2021/3)
- \*新横浜駅前店(2021/3)





新橋日比谷口店



# ~個人でご利用いただける仕切られた『安心』のスペース~ 『ビジネスブース』を展開中



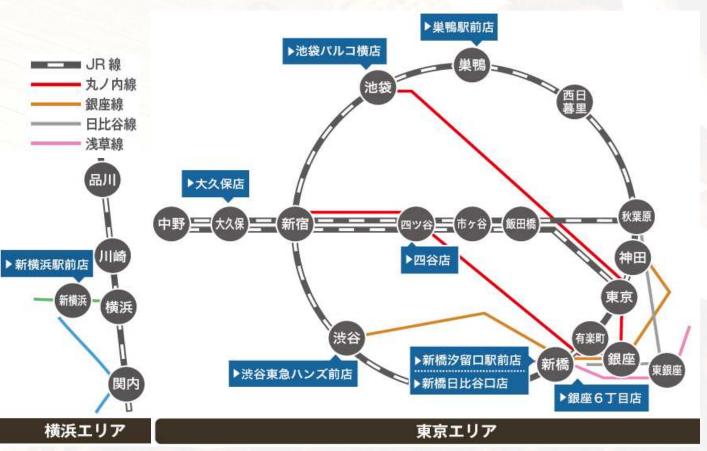
各席毎に間仕切りを設置し、 プライベート空間を演出



ゆったりとしたオフィス仕様の ワークチェアを配置

厚生労働省より発表されました「新しい生活様式」を取り入れ、リモートワークやおひとりでの作業、お仕事や趣味に集中できる「安心」のスペース。 喫茶室ルノアールからご提供いたしますお飲み物と共に、 充実したひと時をお過ごしいただけます。

便利なオプションも設置



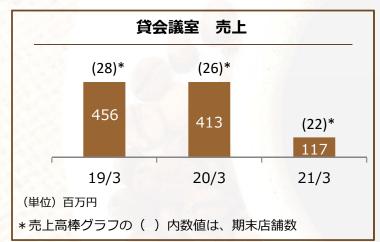




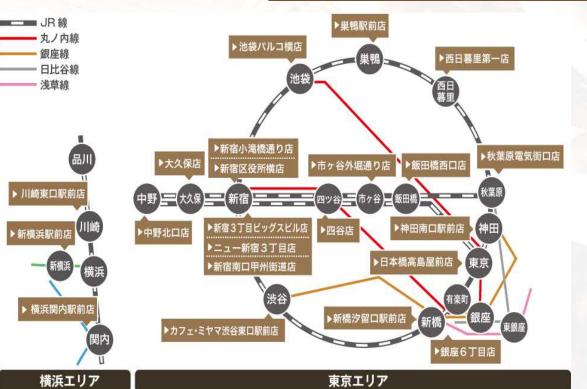
## 1名様からでもご利用可能な「貸会議室マイ・スペース」を運営



ビジネス会議、各種セミナー、 講演会、勉強会などで ご利用いただける会議室を提供 いたします。 完全個室、広めの快適空間で リモートワーク、オンライン会議 にも最適です。







# 2021年3月期 決算のポイント



- 1. 当社グループが属する喫茶業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や営業時間の短縮要請、また、テレワーク等の働き方の変化による来店客数の減少により、経営環境は非常に厳しい状況となっております。
- このような状況の中、売上高は48.1%減となり大幅な悪化となりました。 親会社株主に帰属する当期純損失は、減損損失の計上を含め△2,368百万円となり 5期連続の減益となりました。
- 2. 当期の新規出店は、「喫茶室ルノアール」が3店舗であり、目標の5店舗は達成できませんでした。 閉店店舗は新型コロナウイルス感染症の影響による不採算店舗の閉店を含む18店舗を閉店し、 期末店舗数は102店舗となりました。
- 3. 2022年3月期においても、新型コロナウイルス感染症の影響は続く事が予想され、 売上の回復にも時間がかかるものと思われます。 そのような中でも感染症拡大防止対策を更に強化し、 当社の企業価値でありますホスピタリティサービスを充実させてまいります。 2021年3月期の閉店店舗18店舗の内11店舗は新型コロナウイルス感染症の影響による 不採算店舗の閉店ですが、他7店舗はビルの建て替えや再開発によるものであります。 今後も建て替えや再開発により閉店せざるを得ない状況を踏まえ、 商圏拡大も視野に入れ新規出店に努力してまいります。
- 4. 株主の皆様への利益還元につきましては、業績に対応した配当を行うことを基本にしつつ、 今後の収益見通し等を考慮しながら、積極的に行うことを基本方針としておりますが、 2021年3月期の当期純損失は△2,368百万円であり、 誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

### 業績概要



- ■売上高 4,173百万円(前期比48.1%減) 昨年発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響は長期化し、各種感染拡大防止措置による経済活動抑制が継続する中、 外出自粛や営業時間の短縮要請、また、テレワーク等の働き方の変化による来店客数の激減により、大幅な減少となりました。
- ■営業利益又は営業損失 △1,960百万円(前年営業利益414百万円) 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経営環境の中、販売管理費及び一般管理費は各コスト削減により前期比16.3%減でしたが、売上の減少をカバーするには至りませんでした。
- ■親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 △2,368百万円(前年純利益51百万円) 営業損失△1,960百万円に加え、減損損失の計上を含め大幅な減益となりました。

	2020年3月期 実績		2021年3月期 業績予想		2021年3月期 実績		対前期比 実績	
(単位:百万円)	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,045	100.0%	4,100	100.0%	4,173	100.0%	△3,872	△48.1%
売上総利益	7,128	88.6%	3,615	88.2%	3,660	87.7%	△3,468	△48.7%
営業利益又は営業損失(△)	414	5.2%	△1,927	△47.0%	△1,960	△47.0%	△2,374	-
経常利益又は経常損失(△)	447	5.6%	△1,911	△46.6%	△1,927	△46.2%	△2,374	V4 -> 14
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	51	0.6%	△2,120	△51.7%	△2,368	△56.7%	△2,419	_
1株当たり 当期純利益(円)	8.4		1-17		△387.7		△396.1	-
1株当たり配当金(円)	14.0	M - H	- 1		0		△14.0	1-1-
ROE (%)	0.9	1 - 2 - 3				<i>f</i> - 1		·
自己資本比率(%)	82.3	<del>//-</del> N-	1 (-)		53.4	-	△28.9	

# 2021年3月期 B/S、CF



■資産:現金及び預金294百万円、敷金及び保証金317百万円、

繰延税金資産152百万円減少

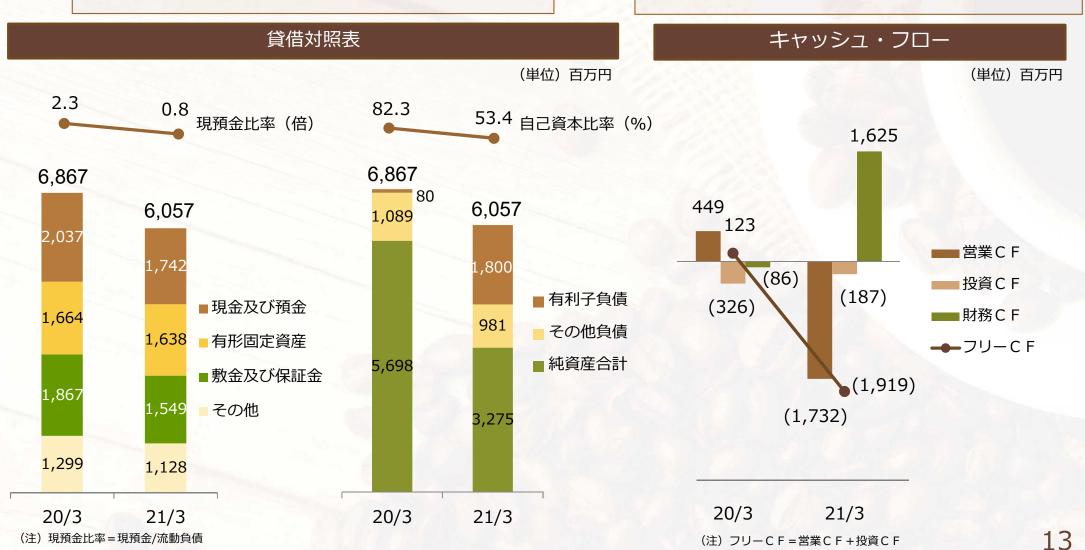
■負債:短期借入金1,720百万円増加

■資本:利益剰余金2,453百万円減少

■営業CF:減損損失491百万円、減価償却費154百万円 あったものの、税金等調整前当期純損失2,307百万円を計上

■投資CF: 敷金及び保証金の回収による収入221百万円 あったものの、有形固定資産の取得による支出321百万円

■財務CF:短期借入れによる収入1,720百万円



# 2022年3月期 業績予想



新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や営業時間の短縮要請、 また、テレワーク等の働き方の変化などにより事業環境の厳しさは継続するものと思われます。

この感染症の収束時期によって、業績に与える影響が大きく変動するため、 適正かつ合理的な業績予測の算出が現時点で見通すことが困難であると判断いたしました。

2022年3月期の業績予想は未定とさせていただき、業績への影響が合理的に予測可能となった時点で、速やかに公表いたします。



本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対しても当社が責任を負うものではありません。

#### 株式会社 銀座ルノアール